

2017年上半期 決算報告

売上高 86,734 百万円、経常利益 155 百万円

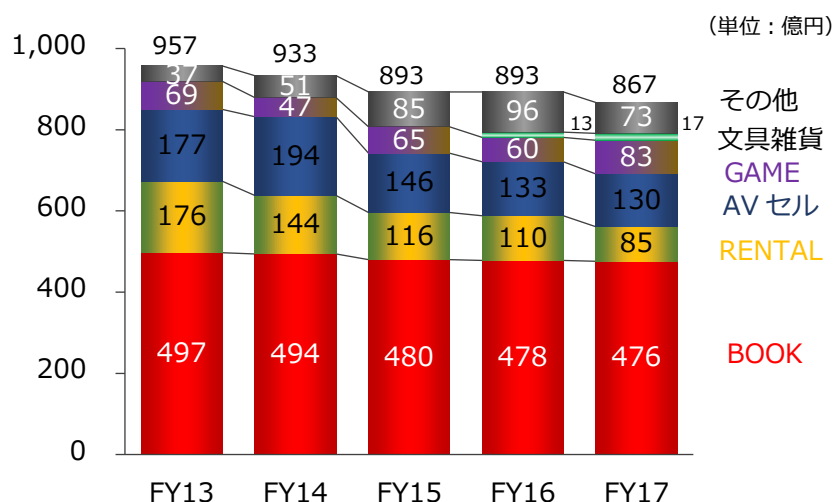
TSUTAYA 店舗で取り扱う商品の商物流事業会社、株式会社MPD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：奥村景二）の2017年度上半期の売上高は、86,734百万円（前年比97.1%）、経常利益155百万円（前年比37.4%）の減収減益の決算となりました。

市場環境は引き続き厳しい状況の中、弊社のアイテム別売上高は、既存アイテムの書籍・AVセルについては微減、レンタル商材は特に市場の落ち込み影響を受け、大きく減収となりました。GAMEについては、2017年3月に発売された「Nintendo Switch」のハードに加え、4月以降に発売された専用ソフト・サプライ商材が堅調に売上を伸ばし、売上高としては、8,375百万円（前年比137.7%）と増収。また、昨年度より新たに取り組みを始めた文具雑貨事業は、TSUTAYAパッケージのリニューアル化に伴い取り扱い店舗を拡大し、売上高1,770百万円（前年比133.2%）と、今後弊社が本格的に取り組む重要なアイテムのひとつとなっております。

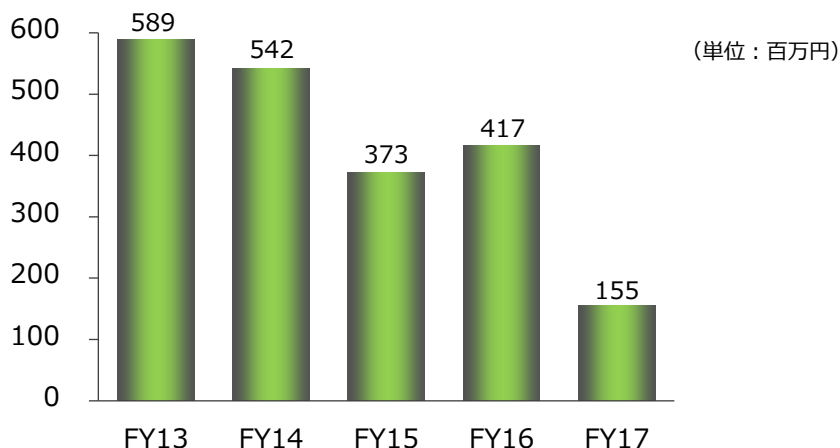
経常利益は、経費の圧縮に努めましたがアイテムバランスによる原価率の上昇をカバーすることができず、減益決算となっております。

■ 2013年～2017年度上半期売上高・経常利益推移

【売上高】



【経常利益】



■ 2017 年度下半期の見通しについて

本年度は 2015 年度から始まった中期経営計画の最終年度となります。既存事業の変革を推し進めるとともに、今後の事業の軸のひとつとなる戦略事業にも積極的に取り組んで参ります。

既存事業の変革においては、上半期同様に BOOK に関して雑誌及び書籍の仕入販売方法における出版流通改革を推進し、お取引様の売上を伸ばし、収益増の貢献に繋がる施策を打ち出して参ります。

戦略事業のひとつの柱である文具雑貨事業は、導入店舗を拡大し、TSUTAYA 独自の PB 商品の拡売や新規商材への取り組みを行い、店頭における顧客価値の最大化に努めます。

また、TSUTAYA の新業態である草叢 BOOKS に対しては、運営面のサポートを通じてお客様へ店舗の魅力をアピールし、収益性の高い店舗作りに貢献を致します。

上半期は、減収減益の決算となりました。下半期についても厳しい市場環境が想定されますが、上半期の業績をカバーできるよう、様々な挑戦に取り組んで参ります。

《株式会社 MPD 概要》

本社所在地 東京都渋谷区南平台 16-17 渋谷ガーデンタワー13 階

代表者名 奥村 景二

事業内容

- ・書籍、雑誌、音楽、映像ソフト、ゲームソフト等の卸販売
- ・エンタテインメント関連商材の卸販売
- ・関連商材の卸販売、中古品（音楽、映像、ゲームソフト等）の売買
- ・レーベル事業

<本件に関するお問合せ窓口>

株式会社 MPD 広報室：北見、川越

TEL 03-5784-5050